

3年ごとに重要課題全てに取り組む

小川陽平 ●株式会社コスモスモア ファシリティ事業部 部長

1986年、株式会社リクルートコスモス入社（現、株式会社コスモスイニシア）、その後株式会社コスモスモアに転籍、約11年にわたり総務、人事、情報IT、経営企画などのスタッフ部門の責任者として従事。自社オフィス施策でコンクール等入賞。2008年にファシリティ事業部の部長に就任し、年間700件以上のFMに携わる。

写真① 総務代行のアウトソーシング先の様子



四月から、「全国四七九社総務部門アンケート」の「総務部門の役割として重要になると思っている」の上位項目に沿って、お話ししてきました。今回は、最近本社移転を行った三〇〇人規模の企業の事例に触れながら、重要課題への取り組みをまとめたいと思います。

重要課題全てに取り組む

図表①は、この上半期に取り上げたテーマです。経費節減、組織改革、コンプライアンス、オフィス改善、健康管理、情報セキュリティのうち、いくつかのテーマについてご紹介してきました。これらは個別でも十分取り組みに値しますが、本来は相互の関係を踏まえ、検討や導入を同時進行させるのが望ましいものです。そこで、本社移転をきっかけに、全ての項目の検討を同時に進めた事例をご紹介します。

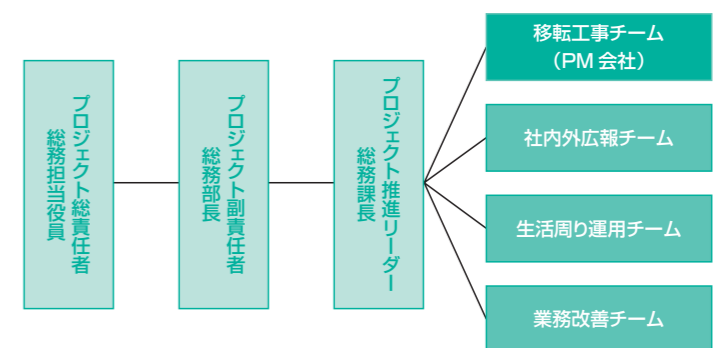
X社の場合

X社は、経費節減を最大目的として、集約ではなく分散移転を実施。この移転をきっかけに、オフィスの徹底的なスリム化、働き方の無駄の排除、社外リソースの利用による従業員負担の削減を目指しました。したがって、この移転は執務面積や会議室の大幅な減

図表① 上半期に取り上げた重要課題

号	テーマ	ポイント
4月	はじめに	総務の課題＝経営課題FMで解決するための考え方 ①総務の担当者でもっとも望ましいのは「経営ブレン」タイプである。 ②「経費節減」「組織変革」「コンプライアンス」「健康管理」「情報セキュリティ」などが重要課題。 ③企業の目指す姿を明らかにし、未来に目を向けて高い視点で施策を考える必要がある。
5月	健康管理	「健康管理」の観点から取り組むFM施策 ①従業員の健康管理は、「自己責任・自己管理」から、「健康経営」へ。 ②メンタル不調予防には、短時間のこまめな会話の推進と社風に合わせたオフィス構築を。
6月	コスト削減	ファシリティ情報の一元化 ①ファシリティのコストは全体把握が困難な企業が多い。 ②拠点情報を一元管理できる「整理職」のようなツールが有効。
7月	情報セキュリティ	情報セキュリティに関する第三者認証の効果 ①情報セキュリティはどの企業でも例外なく対応を求められる。 ②「第三者認証」の取得が企業の情報セキュリティの推進の近道。
8月	組織改革	組織力を高めるためのファシリティの考え方 ①組織改革には、ICT(インフォメーション&コミュニケーションテクノロジー)が有効。 ②人が自然に交流するような工夫と「在籍表示システム」などのICTでコミュニケーション推進を実現。

図表② X社のプロジェクト体制



少、拠点分散など、利便性の低下を伴うものとなりました。従業員が受けるマイナスイメージの払拭、もろもろのデメリットをメリットに変えるべく、移転の八か月前に社内メンバーを募り、「移転プロジェクト」を立ち上げました(図表②)。移転にかかわる実務はPM会社に移管し、プロジェクトメンバーは経費削減の達成と働き方の改善の両立に向け知恵を絞ることに注力しました。その結果、予想したほどの不便さもなく、新生活をスタートできています。主なテーマと具体的な取

り組みをご紹介します。
(1) 経費節減 築年数は古いですが、賃料が安い小規模ビルを複数調達し、駅前立地の獲得と年間約一億円を超えるコスト削減を実現。移動効率が上がったと従業員の評判も上々。拠点増と今後の出店計画に向け、拠点の二元データ管理を導入予定、また総務代行業務のアウトソーシング先を社内常駐させ、従業員の業務の負担軽減をはかっています(写真①)。
(2) 組織改革 無線LANを導入、全従業員のPCをノート化し、営業部隊の席をフリーア

スの移転等を検討しますが、自社保有オフィスの企業はどうでしょうか。経営はときに「時代の変化に対応」「スピード経営」等を方針として掲げます。自社保有オフィスであったとしても、総務担当部門としては、三年に一度は能動的に大規模なレイアウト変更を検討してはどうか。経営の重要課題全てを棚卸しし、その時代に必要なFM環境を実現させることが企業業績を高める重要な施策だと感じております。
◆ 次回は、「コンプライアンス」についてファシリティの事例を交えながらお話ししたいと思います。

三年に一度、大胆な施策を

企業は自社の業績、人員の変化、業態の変化、組織の変更などにより、結果的にオフィ

- (3) コンプライアンス 外部倉庫への保管文書の量と種類を見直し、社内での収納の施錠ルールを再設定。
- (4) 情報セキュリティ 多拠点化を踏まえ、セキュリティカード、PC、PHS等の運用を再設定。
- (5) 健康管理 従業員のためのリフレッシュスペース(マッサージ室)を運営。ビルの屋上での菜園を運営。全従業員が参加可能。